

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

「同志社女子大学では、文学を学ぶだけでなく、演劇などの表現力をつける学習や、京都御所が目の前にあるという地の利を生かした京都研究ができるから、

- (2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

6月のオープンキャンパスまではまだ大学を選んでいる状態だったので、苦手としている数学と、どの大学でも必要になるであろう英語を塾で教えてもらっていました。オープンキャンパスに行き、「同志社女子大学」の推薦入試を受けたいと思い、過去問を少しずつ解いていくようにしました。

〔夏休み〕

一般試験のことも考えて、現代社会も力を入れてやっていました。過去問は時事問題が多かったので、ニュースを積極的に見て、少しですが対策をしました。推薦入試の英語の問題は、長文の穴埋めという変わった形態だったのでとにかく慣れようと過去問をたくさん解きました。一回解いたものでも、期間をあけて繰り返し繰り返し解きました。

〔2学期～入試直前〕

苦手な教科などは一旦お休みして、入試に必要な英語、国語をこの時期はずとしていました。学校の休み時間や下校時間に友達と単語の問題を出し合ったり、単語力をつけ、家と塾ですと過去問を解いていました。この時期になると、1学期、夏休みでは全然点数がとれなかった英語も正答率が高くなっていき、国語(特に評論)も問題を解くのにいつも苦戦していましたが、ウェブの解き方講座をみたら解く時のコツが分かり、解く時間が短縮できて正答率も上がりました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

行事やクラブ活動がある間はその準備や練習などをしっかりするのも大切だと思います。その時期、どうしても両立が難しいと思ったら、単語力を身につけることに重点を置いたら良いです。勉強はもちろん大切ですが、睡眠時間はある程度しっかり取るのがいいと思います。家で遅くまで勉強→寝不足→授業中に眠るのは悪循環なので、学校の授業も大切にしながら受験勉強をぜひして下さい。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私は志望校を決めるのが遅くて、勉強に取りかかるのも遅くなってしまいました。だから、早めに志望校を決めてそこに向けて頑張ってください。受験が終わったらこれをする!という事を紙に書いておくとやる気が出ます。